

3 火災の総括

① 発生状況及び出火率

令和5年中(令和5年1月1日～令和5年12月31日)における火災件数は37件で、前年から9件増加している。前年比の内訳は、建物火災が3件増加し林野及びその他火災が1件ずつ増加し、車両火災が4件増加した。

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が19件(51.3%)と最も多く、次いで車両火災が9件(24.3%)、林野火災が1件(2.7%)その他火災(建物、車両、林野火災に該当しないもの)が8件(21.6%)、となっている。

出火件数を月別に見ると、10月が最も多く8件、次いで1月が5件、2月・9月が4件、5月11月が3件、3月・7月・8月・12月が2件、4月・6月が1件となっている。

建物火災の用途別では、専用住宅が4件(21%)、共同住宅が1件(5.3%)、併用住宅が1件(5.3%)、店舗が3件(15.8%)、工場・作業場が5件(26.3%)、倉庫が2件(10.5%)、その他が3件(15.8%)となっている。

出火率(人口1万人当たりの出火件数)は1.8件で、前年から0.4件増加している。この数値は、前年(令和4年中)の全国平均出火率2.9件より1.1件少ない数値である。

② 死傷者

火災による死者はなし(前年2人)で、負傷者は1人(前年1人)である。

③ 焼損状況及び損害額

焼損棟数は19棟で、前年の21棟より2棟減少し、火元建物の焼損床面積は84.0㎡で、前年の464.0㎡より380.0㎡減少している。

火災による損害額は41,102千円で、前年の44,205千円より、3,103千円減少している。

④ 出火原因

出火原因で最も多かったのが、こんろ4件(前年2件)。次いで、排気管3件(前年1件)、火入れ、放火の疑いがそれぞれ2件の順となっている。

◆令和5年火災総括表

総火災件数		37 件
火災種別	建物	19 件
	林野	1 件
	車両	9 件
	その他	8 件
焼損棟数		18 棟
り災世帯		7 世帯
り災人員		24 人
建物焼損床面積(火元)		84.0 ㎡
" (類焼)		0.0 ㎡
建物焼損表面積(火元)		12.0 ㎡
" (類焼)		0.0 ㎡
林野焼損面積		62.0 アール
死者		0 人
負傷者		1 人
総損害額		41,102 千円
内訳	建物	37,177 千円
	林野	2 千円
	車両	3,801 千円
	その他	122 千円

◆各種別平均

件数	
1か月当り	3.1 件
1日当り	0.10 件
損害額	
1件当り	1,110.9 千円
1か月当り	3,425.2 千円
1日当り	112.6 千円
1時間当り	4.7 千円
1分当り	0.1 千円
焼損床面積(建物火災・火元)	
1件当り	4.4 ㎡
1か月当り	7.0 ㎡
1日当り	0.2 ㎡

出火率 (人口1万人当り)

1.8 件

※建物火災19件のうち1件は爆発現象によるものであるため焼損棟数及び焼損程度には含まれない。

◆出火原因順位

順位	出火原因	件数
1位	こんろ	4件
2位	排気管	3件
4位	火入れ	2件
	放火の疑い	

※出火原因順位にその他及び不明は含まれない。